



大分県産杉材を使用した木塀



境界フェンス H=1200mm

大分県森林組合連合会

境界、目隠しフェンスの特徴

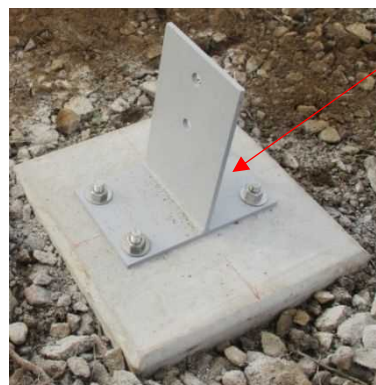
- ・ ACQ加圧防腐注入処理（K4）やインサイジング処理により、長期間の耐朽性が期待できる。
- ・ 設置する場所により、縦断・横断方向の角度変更可能。
- ・ 特注金物や加工手法により、部材の交換が容易。
- ・ 既存のコンクリート部に設置可能。（境界フェンスのみ）
- ・ 大学による強度試験結果から、安全性が確保されている。
- ・ 木材の他、基礎ブロックや特注金物など全て県内で製造。
- ・ 主材料である木材は、製造時の炭素放出量が極めて少なく、製品内に炭素を固定するため環境に優しい。



◎境界フェンス（H=1200）



- ・ 胴縁（ビーム）両面に板を取り付けており、表裏の無い構造。
- ・ 胴縁（ビーム）の交換は、柱の取付穴を深く穿孔しているため、ビームをスライドして交換することが出来る。（境界、目隠しフェンス共）
- ・ 柱脚用金物を使用



柱脚用金物

- ・ 境界フェンスの柱は、特注の金物で固定。
- ・ 交換が容易な構造となっている。
- ・ 基礎はケミカルアンカー×4本
- ・ 柱はボルト×2本で固定

◎目隠しフェンス (H=1800)



車道側 (正面)



・斜め正面側に正対すると視線を完全に遮ることが出来るが、一定の角度になるとわずかながら視認される。

・柱は基礎ブロック埋込
・砂を充填して突き固め、表層のみモルタル仕上げ、交換時は表層を研る。



(境界、目隠しフェンス共)

・紫外線による劣化の激しい板材は、防腐注入効果を高めるために板材の裏面にインサイジング処理。



【お問い合わせ先】

〒870-1214 大分市大字太田663-1

大分県森林組合連合会

木材加工流通センター

TEL : 097-586-4115 FAX : 097-586-4116



木塀管理方法

【塗装について】

雨風や紫外線等による塗料の色落ちや褐色がある場合は、サンドペーパーなどで塗装面のごみやほこりなどを除去、清掃したのち再塗装を行う。

【腐朽による交換について】

管理者が、年1回程度の目視調査を行い、6段階評価法にて管理。
被害度3になった時に交換等を検討する。

・目視による6段階評価法

被害度	観察状態
0	健全。
1	部分的に軽度の虫害または腐朽。
2	全面的に軽度の虫害または腐朽。
3	2の状態うえに、部分的にはげしい虫害または腐朽。
4	全面的にはげしい虫害または腐朽。
5	虫害、または腐朽により形がくずれる。

※6段階評価法 = 土木用木製構造物の耐久性に関する研究（大分県林試研報）

【交換方法】

◎主柱

- ・目隠しフェンス主柱 = コンクリートブロック内を砂で充填、表層のみモルタルで固定しているので、表面を鑿などで軽く研るだけで、主柱を交換することができる。
（事前に横棧の取り外しは必要。）
- ・境界フェンス主柱 = 柱脚金物にボルトで固定しているため。ボルトを取り外せば主柱を交換することができる。
（事前に横棧の取り外しは必要。）

◎横棧 = 横棧を受ける主柱の孔を貫通孔とする。

孔には遊びがあるために、交換時には横棧をスライドするだけで、取り換え交換が可能。

◎フェンス = 金物（ビス）をインパクトドライバー等で外し、交換を行う。